



3月議会定例会

平成26年度一般会計当初予算は

総額 33億500万円

(前年度比10.3%増)

25年度3月議会定例会が、3月5日から14日までの8日間にわたり開催され、条例の制定や一部改正、町有財産の無償貸付、平成26年度各会計当初予算案等51議案が提案され、いずれも可決されました。
平成26年度一般会計当初予算の総額は33億500万円で、秋田県との協働事業である未来づくりプロジェクト事業及び防災・減災事業の計上により、前年度よりも10.3%の大幅な増額予算となっています。

行政報告

◆各事業の実施状況について

各事業について、順調に推移していましたが、能代山本医師会病院の増築工事については完成年度の遅れから、補助金の支出を繰越するほか、南部清掃工場についても繰越することとしています。また、今冬の全国的な大雪により、建設資材の確保が滞っている状況から、農業災害復旧事業のほか、土木・建築関係についても繰越することとしています。

◆平成26年産米の生産数量目標

藤里町への配分数量は、前年より74トン少ない2,544トン、作付面積では、13.41ha少ない460.87haの配分となりました。各農家への26年産米の配分については、藤里町農業再生協議会臨時総会において、昨年と同様に水田を耕作している全農家を対象として同率で配分を行うことを決定し、仮配分を行いました。前年より減少した74トンの生産数量については、加工用米で対応することとしています。一方、国から示された4つの改革からなる新たな農業施策について、国の要綱・要領により進めていきます。1つ目は、農地中間管理機構からの農地利用集積等の業務委託の対応。2つ目は、経営所得安定対策の支払方式変更への対応。3つ目は、水田フル活用と米政策の見直しに対する業務。4つ目は、日本型直接支払制度の農地維持支払・資源向上支払業務への対応。この4つの施策は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に沿って策定されたもので、今後10年間で、担い手への集積農地を8割まで拡大すること、生産費を全国平均で4割削減

歳入

【予算規模：33億500万円】

(単位：万円)

